



ルーム・トゥ・リード
2013年度 アニュアル・レポート

スマートな支援



最高経営責任者（CEO）からの手紙



親愛なる皆様へ

ルーム・トゥ・リードの共同創設者であるジョン・ウッド、ディネシュ・シュレスタ、そして私は、多くの方々から非営利界の社会起業家として認識されています。この榮譽を誇りに思い、ご期待に沿えるよう取り組んで参りました。

14年前にルーム・トゥ・リードを立ち上げたことは、私達にとって個人的にも職業的にもリスクを伴う選択でした。しかし信念を貫き通してこられたのは、この「市場」に存在する空洞、つまり極めて必要とされる重要な事業に欠落点があると気づいたからです。2億5千万人も子ども達が、基本的な識字能力を身につけられないまま大人になろうとしています。国同士の垣根が低くなりつつあるこの世界で、次世代を担う子ども達には読み書き能力が絶対的に必要です。なぜ必要なのか？それは、読む・書くことが全ての学びの基本であり、世界中の深刻な問題、例えば貧困、紛争、病気、確執、差別、搾取などを解決する出発点であるからです。

私はビジネスパーソンとしての経験から、いかなるプロジェクトにおいても、戦略的で起業家的アプローチをとることが成功の鍵であると学びました。そしてCEOという立場から、このアプローチをルーム・トゥ・リードの基本的価値観として強調し続けてきました。

私達にはビジネスモデルがあります。予測・計算可能なリスクをとり、何を達成し何を改善できるかを評価基準にします。

私達は人との繋がりを大切にします。支援活動のどのような段階においても、人の持つ潜在能力を高めプロジェクト効果を最大化できるよう、スタッフ、パートナー、アドバイザーの人材育成に投資をしています。

私達は革新的であるよう努めています。しばしば直面する困難には、新たな解決策を見いだすことが不可欠だと知っているからです。だからこそ、成果を残す数々のプログラムモデルを開発することができました。プログラムの内容は、支援する対象国に応じて調整を行っています。

そして活動で得た専門知識を、同じ目標を持つ仲間達と共有することにも注力しています。共有することでより多くの子ども達に支援の手を差し伸べられるなら、私達は独占権などいりません。

こうした全ては、ある信念に繋がっています。スマートな支援です。社会起業家らしく、投資家の皆様に明らかにしたいことがあります。あらゆる活動において効率・質の両面で改善を続け、最後の1ドルまで最大限に活用したことについて。私達の創意工夫とリスクをいとわない情熱が、価値の付けようがないほど貴重なリソースと見識をもたらしたことについて。

ルーム・トゥ・リードが常にスマート（賢明）な支援を行っている信頼して下さる皆様のサポートなしには、いかなることも達成できなかったでしょう。そして皆様のスマートさが、私達を絶えず挑戦に立ち向かわせて下さったことにも感謝申し上げます。「全体は部分の総和に勝る」はアリストテレスの有名な格言ですが、ルーム・トゥ・リードはそのような存在であると思っています。旅の道連れである皆様の眼、耳、声なしには、この旅の成功はありませんでした。

この道は、グローバル・リテラシー（国際対話能力）と教育における男女平等へと繋がっています。2015年までに1千万人の子ども達へ、教育を通してより素晴らしい人生を提供していきます。私達が目的地にたどり着くのが早ければ早いほど、子ども達は希望に溢れた未来に向けてすぐに出発することができます。迅速な支援が実現できるのも、皆様のお力添えのおかげです。私達の活動が発展し、拡大し、創造し続けるのを見守っていて下さい。全ての子ども達が、彼らに必要な教育に到達するまで私達は歩みを止めません。世界を変革する力を秘めているのですから。

敬具

エリン・ガンジュ
共同創設者 兼 CEO

目次

2013年度 アニュアル・レポート スマートな支援

スマートなプロセス	3
スマートな人々	7
スマートなツール	11
スマートな影響力	15
スマートな広がり	19
スマートな提携	21
スマートな財政	23
理事会および職員	25

理事長からの手紙



親愛なる皆様へ

私がルーム・トゥ・リードの理事会に参加した2008年には、創立8年で3百万人の子ども達に教育支援を行う2千4百万米ドルの組織でした。当時も今も変わらない願いは、できるだけ多くの子ども達に彼らが求める教育を提供できるよう活動を広めたいということです。このレポートをご覧頂ければ分かる通り、その後わずか5年で、私達の成果は約3倍に、プログラム活動支出は2倍に増大しました。また、グローバルスタッフ数は950名以上（88%は活動国に常駐）、プログラム活動はアジアとアフリカの10カ国で実施されています。

ルーム・トゥ・リードの初年度に（当時の名称は「ブックス・フォー・ネパール」）、ジョン・ウッドから誘われた時のことをはっきりと覚えています。活動を支えるメンバーとして参加して欲しい目標は1千万人の子ども達に教育機会を提供することだと説明されました。サポーターである皆様も同様に思われたかもしれませんが、聞いた時はそんな計画が実現できるのか半信半疑でした。しかし今ではすっかり壮大なゴールの虜になってしまい、この挑戦に参加できていることを嬉しく思います。間もなく当時の目標1千万人を達成しそうなので、さらに大きな数字へと修正すべき時がきました。当初の目標数にゼロをひとつ加えたら、投資家の皆さんはどう思われるでしょうか？

私は、2014年に理事長に選出されたことを光栄に思っています。マイクロソフト・ビジネス・ソリューションズの元最高財務責任者だったこともあり、ご想像に違わず数字を掘り下げる作業が大好きです。実際、ルーム・トゥ・リードの初期には、最初の財務モデルの開発に携わりました。その初の予算案は、なんとシアトル・コーヒー・ショップのナプキンの裏に書き出しました。現在の予算案はというと、エクセルで複雑な数式を駆使して管理されています。ルーム・トゥ・リードに誘われて以来毎年、自分に与えられたこの作業に邁進して参りました。そして皆様がデータをじっくりご覧になった際に見いだされるものに自信を持っています。その自信には根拠があります。私達の運営の健全性と財政管理の信頼性が讃えられ、チャリティ・ナビゲーターの4つ星評価（最高評価）を8年連続で受賞しているからです。慈善団体の番犬として知られるグループからこのような高評価を受けられるのは、数千とある慈善団体のうちわずか1%未満にすぎません。

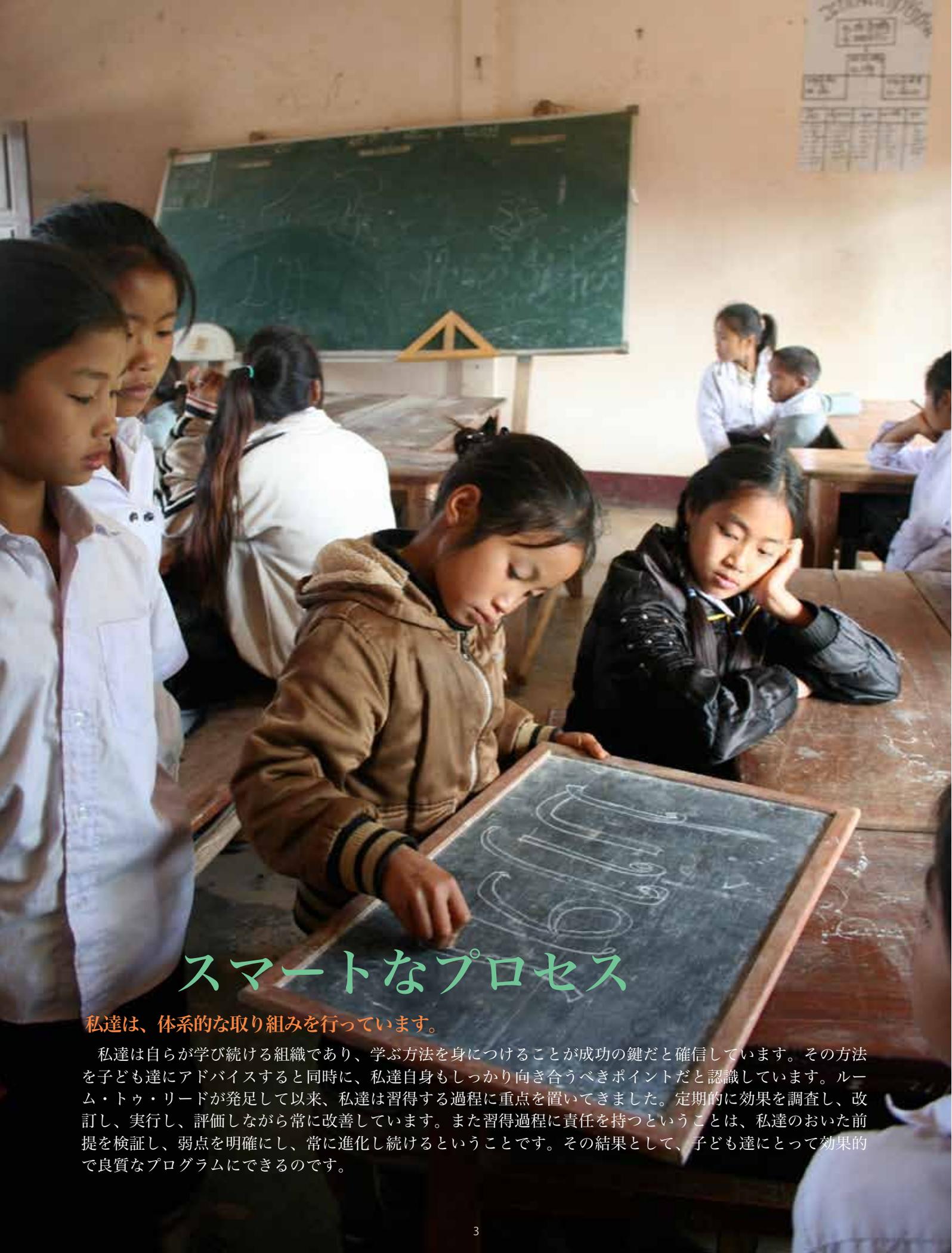
その功績の秘密はどこにあるのでしょうか？まさに、秘密がないことです。ルーム・トゥ・リードの中核となる信念のひとつは透明性です。いわばあらゆる本をテーブルの上に広げるように、寄付金の総額、活動支出、プログラム成果に関する全ての情報を開示しています。情報を追跡調査し、更新し、どなたでも閲覧できるようにしているのです。また知り得た情報を随時ご報告するのも、投資家の皆様への誠意だと考えています。組織の業績報告が重要であると同様です。このレポートを読んで下されば、私達が有言実行しているのご理解頂けるはずで

ルーム・トゥ・リードは透明性に全力を尽くしています。それこそがスマート（賢明）なビジネスだからです。また革新的なプログラムと教材を作るにあたりリソースをうまく活用したポリシーとプロセスを持っていることもスマート（賢明）なビジネスです。こうした要素がうまく結合しているからこそ、様々な分野の人、産業、国の投資家の皆様から支持して頂けるのだと思います。そしてその寄付金が、ルーム・トゥ・リードを通して子ども達の未来を変化させるツールになり得るのだと信頼して頂けるのだと思います。

さらには、私達のスマート（賢明）さが、世界中の拠点で活躍するスタッフの育成という必要不可欠なインフラにも投資されている点でも信頼を集めています。望ましい活動実績が出ているかを確認するため、効果的なシステムを構築しプログラムのモニタリングを行うにはそれなりの資金がかかりますが、成果を把握するにはどうしても欠かせません。インフラに戦略的な投資をすることで、資金を1ドルも無駄にすることなく最大限に活かせるのです。会計士としての私は、運用額の増大を目にして喜んでいますが、投資家としての私は、活動が急速に成長していることに安堵しています。できる限り多くの子ども達をより迅速に支援したいと同時に、彼らの人生を一変できるほど良質な教育プログラムを提供しなければとの思いもあります。今後は、直接的に支援をしている子ども達だけではなく、私達のプログラムモデルと専門知識をさらに多くの子ども達に届けられる方法も模索していきます。こうして続いていく活動が、将来さらに大きな影響力を及ぼすのを皆様と一緒に確認できる日を楽しみにしています。

私達が取り組んでいる問題は、非常に困難です。世界中には、読み書きのできない子ども達が今なお2億5千万人以上も存在するのです。しかしルーム・トゥ・リードは、人間の潜在能力、システム、専門知識を駆使した革新的で拡張性のあるソリューションを得意としています。そして私達は、グローバル・リタラシーと教育の改善に立ち向かい続ける準備ができています。皆様には、ルーム・トゥ・リードを信頼してご支援頂いていることを本当に感謝しております。引き続きパートナーとしてご協力頂けますようお願い申し上げます。

クレイグ・ブルイエ
理事長



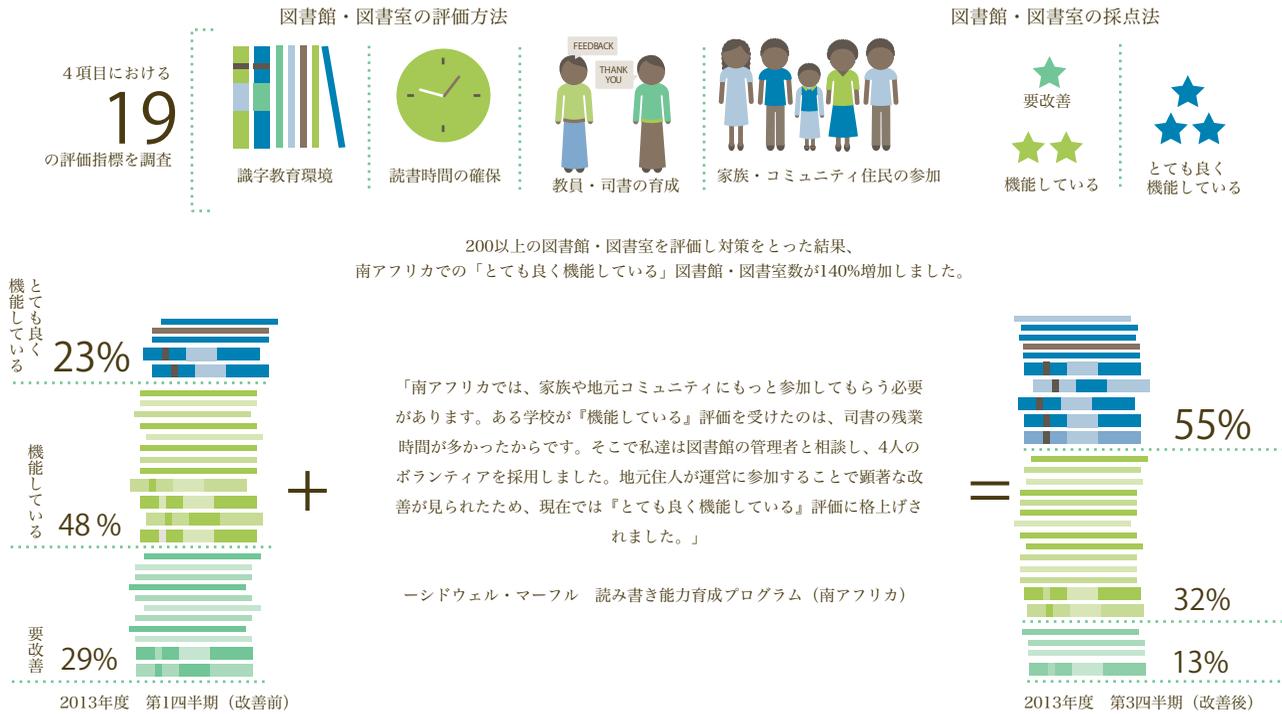
スマートなプロセス

私達は、体系的な取り組みを行っています。

私達は自らが学び続ける組織であり、学ぶ方法を身につけることが成功の鍵だと確信しています。その方法を子ども達にアドバイスすると同時に、私達自身もしっかり向き合うべきポイントだと認識しています。ルーム・トゥ・リードが発足して以来、私達は習得する過程に重点を置いてきました。定期的に効果を調査し、改訂し、実行し、評価しながら常に改善しています。また習得過程に責任を持つということは、私達のおいた前提を検証し、弱点を明確にし、常に進化し続けるということです。その結果として、子ども達にとって効果的で良質なプログラムにできるのです。

最も支援が必要な図書館・図書室を特定

ルーム・トゥ・リードが開発した図書館・図書室の評価システムを用いて、私達が支援する図書館・図書室を2年ごとに査定します。その結果をもとに、どの図書館・図書室あるいはどの地域へのサポートが最も効果的かを見極めます。



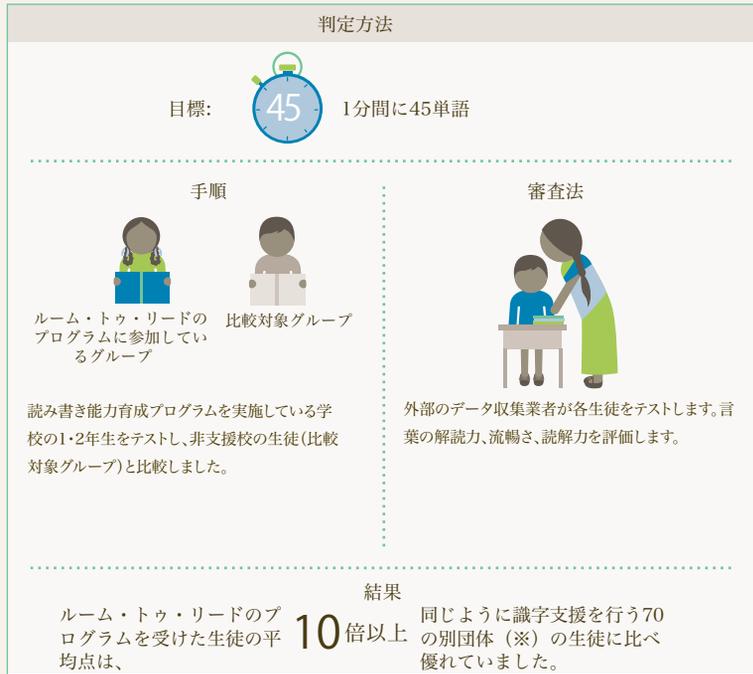
支援の時期を見定める

ルーム・トゥ・リード・ネパールでは、評価ツールを作成して少女達を中退に追いやる要因を特定しました。また、彼女達が学校に通い続けられるよう組織的な支援も行いました。



学習効果を検証

ルーム・トゥ・リードの読み書き能力育成プログラムを実施している各学校で、識字能力の学力判定を行っています。その結果、私達の読み書き指導法が、良い結果に結びついていると証明されました。



バングラデシュの生徒は、文章をよみなく読む力に優れています。

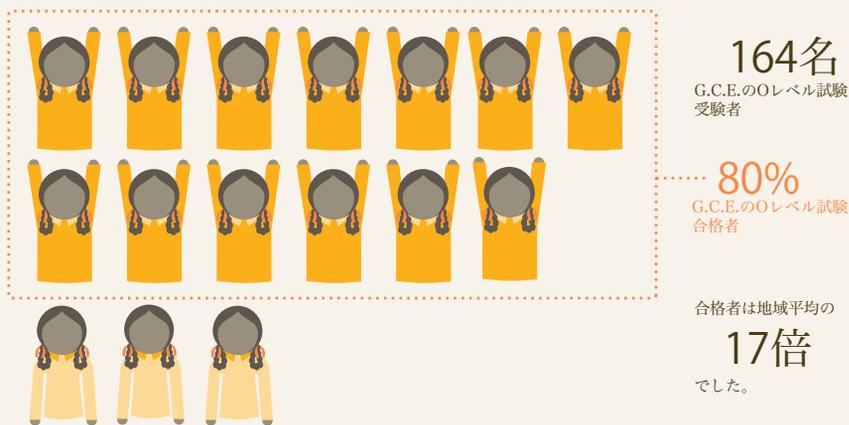


※マキュアン (2013)。発展途上国の小学校における学習の向上：無作為に選出された実験のメタ分析。調査結果報告書。

大事な時の後ろ盾

スリランカのプッタラムで女子教育支援プログラムに参加する生徒達には、教育を受けるために乗り越えなければならない多くの障害が立ちはだかっています。彼らは20年間におよぶ武力紛争のために、北部にある自分たちの家から退避を強いられた国内避難民 (IDP) だからです。そこでルーム・トゥ・リード・スリランカは、少女達にとって大事な時、つまりG.C.E.のOレベル試験(義務教育修了時に受ける国家試験。成績優秀者は高校進学資格を得ることができる)に合格できるよう学習サポートを強化しました。

2007~2012年の支援対象者



プッタラムにおける少女達の中退原因

 **男女差別**
男子は女子よりも優先的に学校へ通わせられます。思春期を過ぎた少女は、男性の同伴なしには外出できません。

 **早婚**
この地域の少女達は、ごく若い年齢で結婚します。文化的な背景と貧困のためです。

 **経済的な問題**
両親が働いているあいだ、家事や弟妹達の世話をしなければなりません。

「この学校を卒業し、大学に通う日をいつも夢見ています。自分そして大切な人達のためにも、きちんとした仕事に就いて安定した生活ができるようになりたいです。」ーハジャ 15歳

図書の嗜好を把握

ルーム・トゥ・リードは、図書の貸し出し分析をするシステムを開発しました。これによって、様々な国における子ども達の本の好みを知ることができ、また私達が出版し図書館・図書室へ供給した図書と他のものを比較検討することができました。

ラオスの若い読者は、ルーム・トゥ・リード
で出版された本を好んで読みます。

ラオスでの調査方法

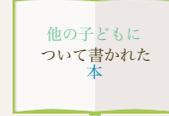

256
名の生徒


1~4年生


6ヵ月間の図書
貸し出し記録


教師・司書を面談

子どもが好む本の傾向



15冊の本を比較検討



ルーム・トゥ・リードが
出版した図書

それ以外の図書

ルーム・トゥ・リード・ラオスが出版した人気ベスト3



『LITTLE RABBIT
GETS LOST』
(道に迷った子うさぎ)



『BEAUTIFUL
FLOWER』
(美しい花)



『FIRST WEEK AT
SCHOOL』
(学校での初めての1週間)

試験的な学習サポート

ザンビアでの女子教育支援プログラムに参加する実に多くの少女達が、読解力の未熟さから9年生の卒業試験に合格できません。また、学習指導や試験対策などの特別なサポート体制も機能していないことが分かりました。そこでルーム・トゥ・リード・ザンビアは、革新的な方法で新たな識字支援を試みました。

成績表

対象者

6ヵ月以上、ザンビアのカフェでルーム・トゥ・リードが支援する6校の6・7・8年生の少女940名

試み



新たな識字支援

結果

良好。ただし単語の発音、綴り、読みの流暢さには大きな進歩がありませんでした。

登校率の上昇が、読み能力の上達に直接よい影響を及ぼしました。

読み書き能力の上達が、社会科や環境学などの特定科目の成績向上に貢献しました。

補習指導は、読み能力にはあまり効果を及ぼませんでした。

今後の対応

2014年は、ルーム・トゥ・リードが支援を受けているグループと支援を受けていないコントロールグループの比較研究を行います。英語の補習キャンプは、学力向上の成果が目覚ましくなかったため継続しません。



スマートな人々

私達は人間の可能性を信じています。

私達は人の潜在能力は無限の可能性を秘めていると信じており、それをあらゆる活動の軸にしています。教育を受けられれば、世界中の子ども達が希望に満ちた未来を築く可能性を手にできます。しかし教育を提供するには、その可能性を実現するための教師、地域コミュニティ、パートナー、親、行政機関、スタッフに投資することも必要です。



いつでも使える図書館・図書室にするためのボランティア

南アフリカにルーム・トゥ・リードが設置した図書館・図書室の利用時間が限定されていたのは、司書に課された責任と業務量が多すぎたためでした。この弊害を改善するために、図書館・図書室の管理委員会を設け、業務を手助けするボランティアスタッフを生徒の親などの地域コミュニティから採用しました。現在では司書がフルタイムで常駐しているので、好きな時に図書館・図書室を利用できます。

ボランティアの業務



南アフリカの図書館・図書室ボランティア数

152	18	152	18
名のフルタイム	名のパートタイム	名の女性	名の男性

進学相談は早めに

少女達が学校を辞める可能性が最も高いのは、中等学校へ進学する時です。そこで女子教育支援プログラムは、この危うい時期に焦点を絞って支援することにしました。とりわけタンザニアチームは、その前段階である小学生の娘を持つ親にも働きかけを行い、学校に通い続ける重要性和ルーム・トゥ・リードがどのようにサポートしていくかを説明しました。

タンザニアの進学率問題*



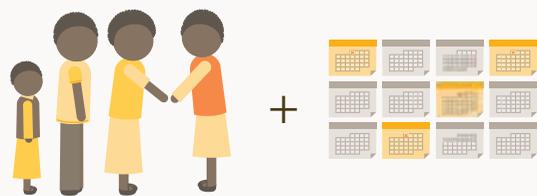
支援の対象



19の小学校

513名の親

支援プラン



進学前に10回の面談

進学後は3カ月ごとの面談

進路の決定前に余裕を持って親達と相談しておく、いざ中等学校にあがる時、娘が教育を受けることに理解を示しやすい傾向があると分かりました。

データから学ぶ

私達は継続的なデータ収集を行って、目標に向かって近づいているかを確認します。次にそのデータを分析し、より迅速に達成できる方法を見極めます。時として、分析と方法の見極めには時間を要します。このプロセスをスムーズにするため、試験的にラジャスタン（インド）の現地スタッフをトレーニングし、瞬時にプロジェクトの問題点を診断し、効率的な解決策の特定をするためにデータを活用しました。

リアルタイム・プロジェクトの改善ステップ

ステップ1: 質問、ブレインストーミング
(意見を出し合う)、計画

スタッフ



図書の貸し出し数を増やすには、
どうしたらいいでしょう？

教師



生徒が、自分の読書レベルに
合った本に興味を持つといい
のですが。

司書



レベルに合った本に親しめる
よう、音読する機会を増やし
てみましょう。

ステップ2: 試験的な解決策



図書館・図書室で、声に出して本を
読む時間を設ける

ステップ3: モニタリング結果



貸し出された図書の記録データを検証

ステップ4: 新プランの実施・試行

教師



データ上で貸し出し数は増加
していますか？

司書



はい。データによると、自分
の読書レベルに適した本を借
りる生徒が増加しています。

スタッフ



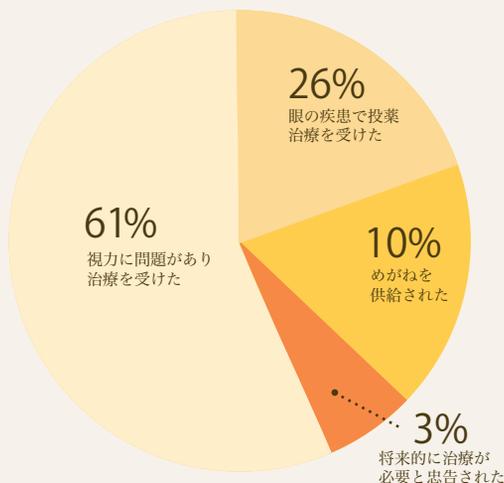
それは嬉しいことです！では、
この地域の全ての学校でも同じ
方法を採用しましょう。

さらなる成功のために

バングラデシュの郊外に位置するシラジガンジはしばしば大洪水に見舞われるため、少女達は通学に苦労しています。また同じ理由で、眼の疾患や視力検査を受けに病院へ行くことも困難です。少女達の視力の弱さが学業に支障をきたしていると判断した私達は、下記の対応を行いました。

583名の少女達

を検査 (2011~2013年)



ルーム・トゥ・リード・バングラデシュが眼科医を手配し、スクリーニング*をした数校で検査を実施しました。



家庭でも読書習慣を

子ども達がひとりで読書しそれを習慣化していくには、学校でも家庭でも活字のある環境作りをすることが大切です。スリランカチームは支援している小学校の親達と協力して、家庭でも本に囲まれた環境を作り、子ども達が日常的に読書できるよう働きかけました。

8,500 世帯 私達の読み書き能力育成プログラムに参加する生徒の家庭8,500世帯に、ホーム・ライブラリー（自宅図書室）ができました。

家庭での読書環境の作り方



ホーム・ライブラリー用の書籍を調達するため、親は創造的な手段を探し出します。



近所に住む生徒達が、自分達の本を交換できる機会を作ります。



子ども達が気に入った場所で読書できるよう、親は屋外に屋根付きスペースを作ります。



子ども達が本を音読し、読み書きができない親に聞かせます。

その後の進路

女子教育支援プログラムの開始以来、6ヵ国で1,100名以上の少女達が中等学校を卒業しました。2012年にはザンビア初の卒業生が誕生し、現在は学んだことを活かした進路を歩んでいます。下記に数例をご紹介します。



エステル K.: 人権運動家。少年刑務所で人権侵害を受けている若者を擁護しています。



エステル M.: 3年生の算数と英語を教える教師。



パロニカ: 幼稚園の先生。末期患者やHIV/AIDS感染者の世話をするコースを修了したので、看護師になる予定です。



ムレンガ: 大学生。ザンビア大学で教師になる勉強をしています。



テレサ: 大学生。得意科目の数学と地理の教師になる勉強をしています。



ミリアム: ルーム・トゥ・リード女子教育支援プログラムのソーシャル・モビライザー。看護師になる予定です。

「ソーシャル・モビライザーの仕事にやりがいを感じています。というのも、恵まれない人々が自分達の子どもの教育を受けさせたいと願っているのが分かったからです。少女達には、学校の勉強を一生懸命に頑張れば貧困から抜け出せると勇気づけてくれる、私のような手本が必要です。」ーミリアム

スマートなツール

私達は、物質的支援も大切にしています。

特に資金が不足している時には、適切な教材や学習環境の整備が困難になります。例えば、子どもが読めるレベル、言語、文化の図書なしに、本が読めるようになるでしょうか？教室の換気が悪く、黒板に書かれた文字も見えないほど薄暗い教室で、勉強ができるでしょうか？私達は数年にわたる聞き取り調査と検証を重ね、プログラムの長期的な成功に不可欠な教材・環境の特定と、それらを有効活用する方法を編み出しました。



子どもの意見を反映した図書

私達が図書を出版する際には、事前に読者になるであろう子ども達に原稿を見せ、デザイン、読書レベル、単語の難易度、男女差別への配慮について感想を聞きます。そうした意見を反映しているため、子どもが読みたくなるような良質な図書を制作できるのです。

カンボジアでのフィールド・テストを実施したところ、意見を反映させた良質な図書作りができました。

感想と改善点の例

対象図書：『THE GIFT FROM THE MAGICAL MAN』（魔法使いからの贈り物）

ステップ 1
原文：
「彼はプラスチックの皿とスプーンを素晴らしい(ASTONISHING)本と鉛筆に変えました。」

ステップ 3
改善点：
言葉使いと各文章を簡潔にしました。

ステップ 2
感想：
対象としている生徒の読書レベルには難しすぎる単語が含まれています。

ステップ 4
改善点：
「彼はプラスチックの皿とスプーンをきれいな(PRETTY)本と鉛筆に変えました。」

対象グループ



3つの学校



40名の生徒



7~10歳



5冊の図書



「私は『SKIPPING ROPE』（縄跳び）のお話が好きで、休み時間には友達と縄跳びをして遊んでいます。」

ーレングセン、10歳



「絵を見れば海の生物のことが分かる『PLEK PLOK THE LUCKY LITTLE FISH』（プレック プロック 幸せの小さなお魚）が気に入っています。」

ーニローンニッサ、8歳

テクノロジーを利用した時間と資金の節約

レノボ社のご厚意により、女子教育支援プログラムで活用しているノート型パソコンをご提供頂きました。

ベトナムでの活動にノート型パソコンがどう貢献しているか

使用前



以前は、1台のパソコンを同地域の全ての学校スタッフで共有していました。そのため、手書きの書類を文書化したり、データ入力したり、事務所間の連絡でパソコンを使いたい時は、その場所まで赴かなければなりませんでした。

使用后



- ソーシャル・モビライザーはノート型パソコンを持ち歩けるため、各少女のデータをリアルタイムで入力できます。
- ライフスキル・ワークショップや保護者との面談で、動画コンテンツを活用できるように
- パソコンを使用するための移動が不要になったため、ガソリン代が節約できました。

会得したテクニカル・スキル

検索エンジンを使って情報を見つけられる割合

使用前	50%
使用后	100%

エクセルを使うユーザーの割合

使用前	50%
使用后	100%

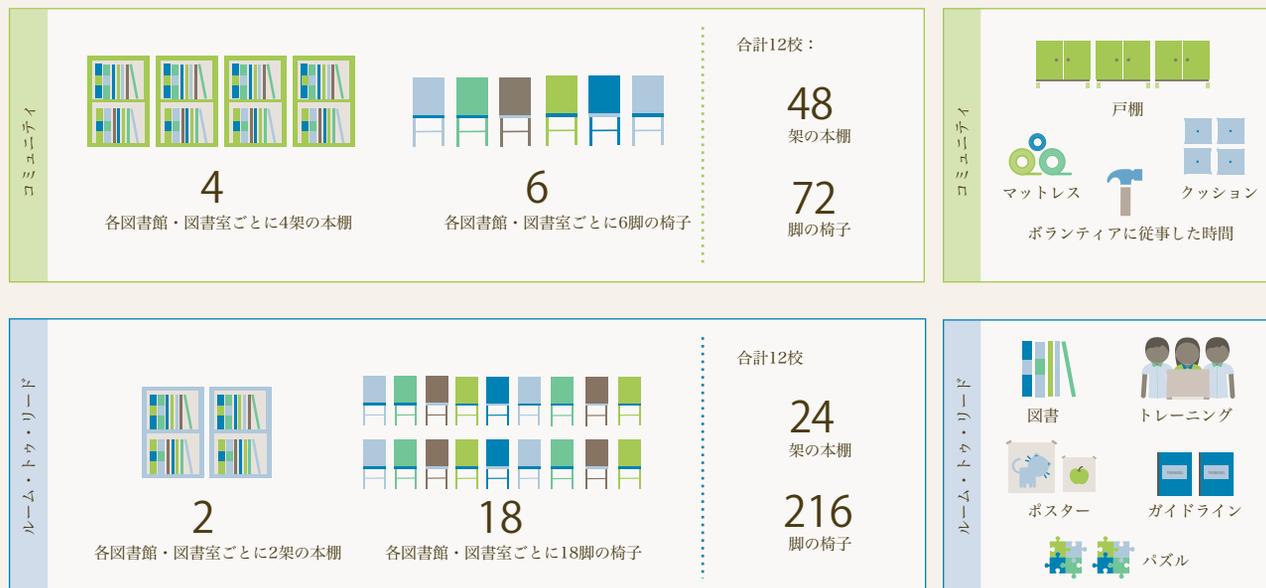
授業でパソコンを使うユーザーの割合

使用前	0%
使用后	100%

持続可能性を支える千差万別な貢献

ルーム・トゥ・リード・タンザニアは12カ所の村に点在している学校を支援するため、各村の行政担当者に識字環境を整備する計画に加わってもらいました。私達が地域コミュニティと協働する理由は、地域住民の協力がないと立ち上げたプログラムを持続していくのが不可能だと知っているからです。計画の初期段階から参加してもらうことで、彼らの手に学校運営と生徒の未来を委ねます。

タンザニアでの地域コミュニティの貢献具合



大きな変化は小さなことから

ルーム・トゥ・リード・ネパールは、バルディア地域の多くの少女達が、学校で困っていることがあっても人には言えないという問題を抱えていると知りました。これに応えるため私達のチームは、匿名の手紙を投函できる投書箱を校庭に設置しました。学校の運営、教師の態度、授業の質、さらに深刻な問題（教師による性的虐待など）についての抛り所ができたおかげで現在の生徒達は以前にも増して安心感と自信に溢れています。



先生が授業に遅れて来ます

男子生徒にからかわれます

プライバシー保護のため別個のトイレが必要です

ゲームを使った授業がしたいです

このシステムの効果

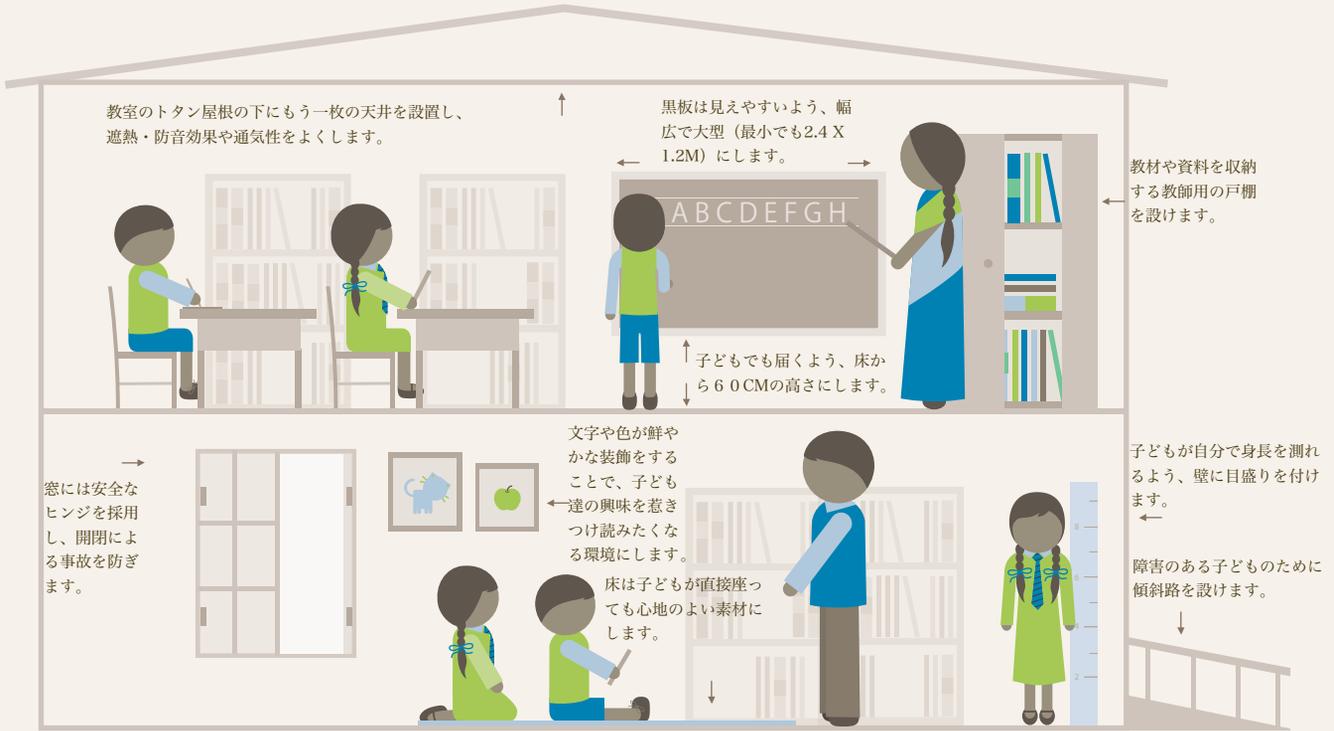
ルーム・トゥ・リードのスタッフ、親、教師、学校管理者、生徒で構成される委員会が設置されました。

投書箱は15日ごとに開けられ、寄せられた要望を検討します。

各投書は校長と学校管理委員会に届けられ、検討のうえ改善策を実行します。

最適な学習環境の創造

長年にわたる学校の設計、建設、修復の経験を活かして、ルーム・トゥ・リード・ネパールは、学習環境が安全かつ魅力的であるかを確認するチェックリストを制作しました。



「卒業していく少女達へのガイド」

ベトナムでの女子教育支援プログラムに参加した300人以上の少女達が、すでに中等学校を卒業しました。彼女達は卒業がどれほど心細かったかを覚えており、その経験を後に続く後輩達にアドバイスしたいと考えました。中等学校を出た後の生活について、卒業生達がハンドブックにまとめました。



スマートな影響力

私達は共有する使命感を認識しています。

14年間にわたりスマートな教育支援方法を積み上げてきた経験を活かして、プログラムを効率的かつ持続可能にするスキルと戦略に磨きをかけてきました。しかし、こうした努力は私達の目的のためではありません。子ども達のためです。この経験から学んだノウハウと専門知識を行政、海外・国内パートナーなどの同じゴールを目指す皆さんと積極的に共有したいと考えています。そうすれば良質な教育を、より多くの子ども達に、もっと素早く届けられるようになるからです。

図書館・図書室の専門知識を共有

ルーム・トゥ・リード・スリランカは国内8地域で活動していますが、プログラムの効力をさらに拡大するため、ユニセフに技術指導を提供しました。その結果、私達がまだ活動できていない4地域で、ユニセフがブック・バンク（ルーム・トゥ・リードの図書館・図書室プログラムと同様）を設置しました。

ルーム・トゥ・リードの研修会



70 名の活動リーダー、教師、行政担当者



70 のユニセフが支援する学校

研修の目的

グローバルな図書館・図書室ガイドラインについての意識共有をします。学校に図書館・図書室を設置する目的と利点、効果的な運営と読み聞かせの成功事例などについて詳しく説明しました。



ルーム・トゥ・リードがユニセフに行った研修効果

80%

の参加者が、図書館・図書室の目的を理解し、リーダーの役割の重要性について意識を深めました。

90%

の参加者が、子ども達が利用しやすい図書館・図書室について理解しました。

100%

の参加者が、子ども達に読書習慣を授けるにはどう接すればよいかを学びました。

*参加者の意見に基づく。

大きな夢への小さな一歩

ルーム・トゥ・リード・インドは、少女400名を対象とした3年間の試験プログラムを完了しました。プログラム内容は、少女達が自分でキャリア構築できるようにする社会起業家についてです。コース内容を見直した後、現在ではルーム・トゥ・リード・インドのライフスキル教育に組み込まれている他、幅広い用途に提供されています。

起業家スキル育成コース：
キャリア探索 | 市場での取引 | 財務関連の読み書き

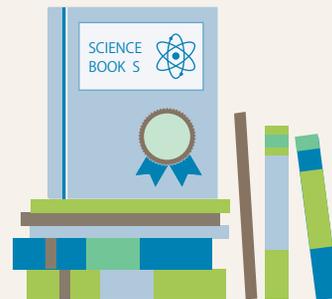
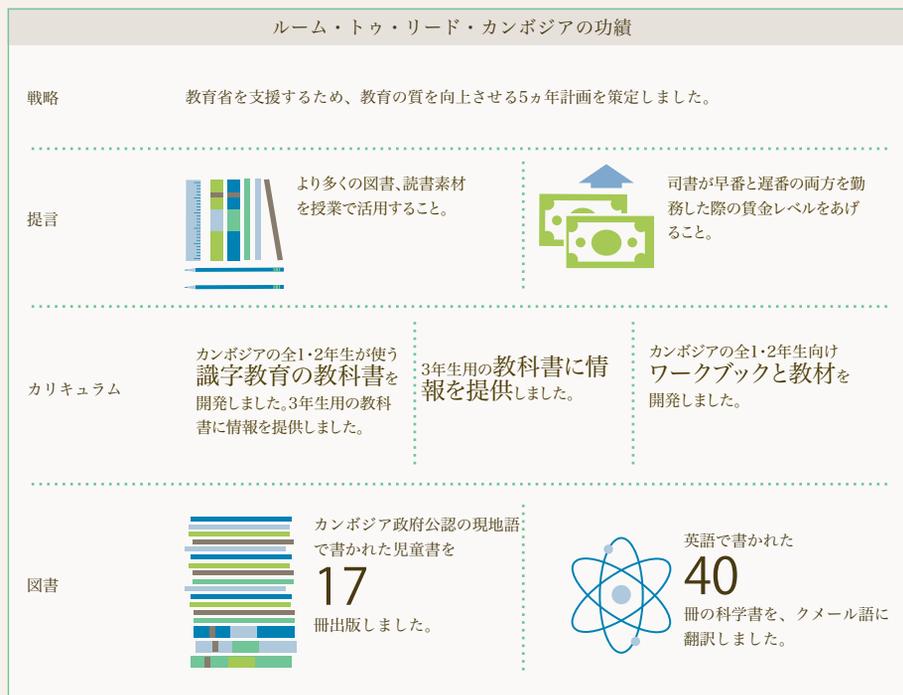
レベル	目標
9年生	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身を理解する 起業家精神を理解する
10年生	<ul style="list-style-type: none"> 起業家の態度とスキルを理解する 銀行、金融システムを理解する
11年生	<ul style="list-style-type: none"> 企業経営を理解する
12年生	<ul style="list-style-type: none"> 事業の立ち上げ方を理解する



「私はボパールの郊外に住んでいます。ここでは、多くの女性が独立して働いています。このコースで習ったスキルは、将来きっと役に立つと信じています。」
—キラン

政府との綿密な連携がもたらした影響

ルーム・トゥ・リード・カンボジアは、同国の教育レベルの促進・強化のために、政府の公式パートナーとして活躍しました。



2013年、ルーム・トゥ・リードは「ROYAL MEDAL OF MUNISARAPHORN MAHASEREYEWAT」という勲章を、カンボジア教育省から授与しました。私達が行ったスカラステック社のサイエンスシリーズ『TIME TO DISCOVER』の翻訳および供給の功績が認められた結果です。この勲章は、カンボジアに多大な貢献をした者に贈られる賞の中で最も権威あるもののひとつです。

男女差別の固定観念を食い止める

私達が活動するほとんど地域の教師には、性別の固定観念や男女差別が、生徒の目標達成に長期的に悪影響を及ぼすという自覚がありませんでした。そこでルーム・トゥ・リード・ラオスでは、3つの州で教師向けのジェンダー研修を行い、参加した教師達には学んだ知識を同僚に伝えてもらいました。



広く知れ渡る評価

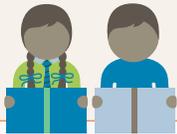
ルーム・トゥ・リードのプログラムは、世界中でその質の高さが認められています。それらはパートナーシップによる活動の共有、受賞やイベントによる話題性によるものです。



ルーム・トゥ・リード・ザンビアは、同国にて全国識字週間を設け、イベントを開催しました。このイベントには様々なNGO団体とメディアパートナー他が集結し、ルーム・トゥ・リードが行った低学年の現地語教育に関するシンポジウムを含めた教育活動とおとして、読み書き能力が向上するようザンビア政府などに働きかけました。



ルーム・トゥ・リード・ネパールの設置した教室の図書コーナーが、学校を子ども達に使いやすい環境に変えたとして、同国の教育省から認められました。



2人のネパール人イラストレーターが制作しルーム・トゥ・リード・ネパールが出版した図書が、ネパール児童文学協会（NESCHIL）の賞を獲得しました。『WHAT HAVE I LEARNED TODAY?』（今日、勉強したこと）と『MALATI'S SHOES』（マラティの靴）における優れた功績が認められたのです。ルーム・トゥ・リード・ネパールが同協会から受賞したのは9度目です。



インドのウッタラーカンド州政府が、ルーム・トゥ・リード・インドの図書館・図書室の運営マニュアルを、私達が直接的に支援していない学校へ供給しました。また同政府より、私達のライフスキル・トレーニングを用いた支援要請もありました。



アジア財団の「ボックス・フォー・アジア」プログラムとの提携で、ルーム・トゥ・リードの児童書がバングラデシュ、ネパール、スリランカで増刷されることになりました。また「ボックス・フォー・アジア」の広域なネットワークを活用して供給されるため、私達が携わった読み物をより多くの子ども達に届けることができます。



ルーム・トゥ・リード南アフリカは、私たちの支援修了後も学校や図書室が持続可能なものである事を証明しています。2008年に建てられたケンネン小学校は、ローカルコミュニティによる維持活動のおかげで2013年に年間図書館賞を受賞しました。



ルーム・トゥ・リード・ラオスが出版した『THE LITTLE CATERPILLAR'S LOST SHOES』（靴をなくした小さな毛虫）が、2013年度の「BOOK EXCELLENCE CEREMONY OF THE LAOS DEPARTMENT OF PUBLICATION AND LIBRARY」で「CONGRATULATORY AWARD」を受賞しました。これは優れた図書に送られる賞で、ルーム・トゥ・リード・ラオスが受賞したのは6度目です。



ルーム・トゥ・リード・ベトナムが模範校としている学校の図書館・図書室が、3州の現地パートナーによって同じモデルで設置されました。その結果、20ヵ所以上の図書館・図書室がベトナム政府から資金援助を受けました。

スマートな広がり

私達は世界的なムーブメントを起こしてきました。

ルーム・トゥ・リードの活動の幅は、私達のビジョンとそれを他者に訴えかけるコミュニケーション能力に左右されると考えています。主要報道機関で意見を述べたり、人が集う場所で話をしたり、ソーシャルメディアやブログで多くの人と繋がっているのは全てこのためです。私達はメッセージを伝え続けます。こうしたプラットフォームは、賞をとったり素晴らしいボランティアチームに恵まれるのと同様に、私達の活動には不可欠な信頼感、気づき、支援をもたらしてくれます。

印刷物から大スクリーンまで

ジョン・ウッドの著書『マイクロソフトでは出会えなかった天職：僕はこうして社会起業家になった』の続編である『僕の「天職」は7000人のキャラバンになった』は、バイキング/ペンギン社より2013年に出版されました。（邦訳：ダイヤモンド社より出版）著書では、どのようにして事業拡大と誠実な活動のバランスをとったか、低迷する経済の中での資金調達、ルーム・トゥ・リードの任務拡大について述べています。

教育が世界を変革すると訴えるドキュメンタリー映画『ガール・ライジング』は、2013年3月にアメリカで劇場公開され、CNNでも世界中で紹介されました。ネパールのルーム・トゥ・リード女子教育支援プログラムに参加した少女スーマと他9人の少女達の人生が、教育を受けたことで変貌を遂げた様を描いています。

受賞による認知度



チャリティ・ナビゲーターで4つ星評価

健全な財務管理と説明責任・透明性への貢献が評価され、8年連続で最高評価を受けました。このような評価を受けられるのは、評価対象の慈善団体のうちわずか1%だけです。



『ザ・タイムズ・オブ・インディア』紙でソーシャル・インパクト・アワード

私達の活動規模と持続可能性が認められ、インドの日刊英字新聞から授与されました。教育部門のNGO団体では、ルーム・トゥ・リードだけが栄誉を授かりました。



世界の非営利団体ランキングで、ルーム・トゥ・リードが総合26位、教育部門では3位になりました。



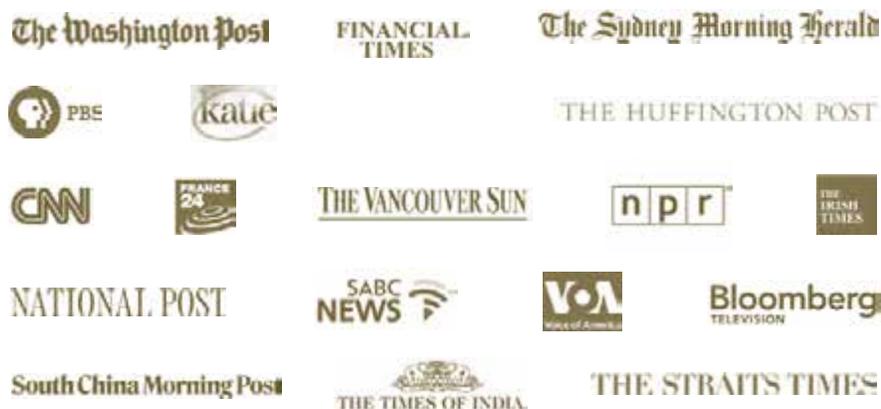
グレート・ノンプロフィットで優秀賞
非営利団体の評価と格付けを行う大手プロバイダーが、ルーム・トゥ・リードを2013年の優秀な非営利団体に選びました。

メディア効果を最大限に

私達は年に4回、メディア監査を行います。ルーム・トゥ・リードの広報を無償で担当して下さっているグローバルPRエージェンシーのケッチャム社が、マスコミ報道による私達の影響力を調査します。2013年の評価は、報道の質で平均を上回っていました。

- ・メディアでの報道回数が増加：2013年に取り上げられた回数は250回以上。2012年に比べ133%増加しました。
- ・好意的な報道：記事の98%が好評価でした。
- ・世界中に拡散：59%はアメリカ国内で、41%がその他の国で報道されました。

報道やソーシャルメディアによる認知度の広がり



55,500

Facebookのフォロワー数



617,000

TWITTERのフォロワー数



2倍

YOUTUBE閲覧者数は倍増

創設者ジョン・ウッド視察の旅 (2013)



13

カ国

35

都市

255,063

移動したマイル数 (地球10周に相当)

93%

ルーム・トゥ・リードの出費に
よらないフライト

149

ホテルに宿泊した日数

85%

ルーム・トゥ・リードの出費に
よらない宿泊

100+

以上の講演数

100+

以上の資金調達イベント数

100+

以上のメディアへの登場回数

フライト中に読んだおすすめの書籍は？

(ルーム・トゥ・リードが出版した書籍以外)

「2013年に読んだ40冊の中では、ジョゼ・サラマーゴの『The Elephant's Journey』(和訳版は未出版、2014年7月現在)が好きです。歴史小説ですが、いくつもの山を歩きながら越えていく長い旅のエピソードも盛り込まれていますよ。」

海外訪問で最も喜ばしいと思えた発展は？

「現地拠点のスタッフ達が瞬間に成長したのを確認できたこと。彼らは、この活動を世界中に広めていくのに欠かせない存在になっています。私は情熱を持った人達と仕事をするのが大好きなんです。」

2013年で最も感動した出来事は？

「ルーム・トゥ・リードの支援で高校を卒業した、カンボジアの少女スレイマンを激励したときこと。彼女はシンガポールのチャリティイベントで300人のゲストの前に、英語でスピーチをしなければならず緊張していたんだ。でも教育が彼女の人生をどう変えたかについて話し終わった時、聴衆からスタンディングオベーションが沸き起こりました。」

グローバルムーブメントの火付け役：魅力的なボランティア仲間



ルーム・トゥ・リードのボランティア達は、単なる資金集めにとどまらず、冒険精神に富んだクリエイティブな活動を体現して私達を支援してくれています。

16

カ国

14,680

名のボランティア

46

カ所の拠点

7,456

マイル

スペイン人と3人のアイルランド人サイクリストが、エジプトのカイロから南アフリカのケープタウンまでを自転車で完走しました。13カ国を通過し7,456マイルを走り抜ける壮大な冒険で集めた資金は、ルーム・トゥ・リードと国境なき医師団に寄付されました。

500

マイル

オーストラリア人のエディー・チーは、ザンビアでの1年間のボランティア活動が終了すると、500マイルの徒歩旅行「サンティアゴ巡礼の旅(フランスからのルート)」に出発しました。フランスのサン・ジャン・ピエ・ド・ボーからスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラまでを、ルーム・トゥ・リードのために旅しました。

9

カ国

アメリカ人プロロッククライマーのベイジー・クラッセンが、「リード・ナウ」ロッククライミングツアーで9カ国を旅しました。南アフリカから出発したこのツアーでは恵まれない女性のために資金を集め、ルーム・トゥ・リードにも寄付しました。

200

マイル

ロンドンのテクノロジー企業に所属する70名の「テクバイカー」が、ルーム・トゥ・リードの資金集めのために、パリからロンドンまでの200マイルを3日間かけて自転車で完走しました。グーグル、ヤマー、マイクロソフト・ベンチャーズ、BBCワールドワイド・ラボ、その他数社の新興企業が参加しました。

2,174

マイル

3カ国から集まった4人の友人同士が2台のオートリキシャでインド国内を旅する「リーディング・リキシャ」を実行しました。ルーム・トゥ・リードのために、メガラヤ州シロンからラジャスタン州ジャイサルメルまで、2週間で2,174マイルを運転しました。

6,033

フィート

スイス、ドイツ、イギリス、アメリカ人の23名で構成されたマラソンチーム「ルーム・トゥ・リードYak Pack」が、ユングフラウ・マラソンを完走しました。スイスのインターラーケンをスタートし、クライネシャイデックにゴールする標高差6,033フィートの壮大な山岳レースです。

1,300

名の参加者

香港で年に1度開催されるトレッキングイベント「パークレイズのムントレッカー」にはすでに6年の歴史があり、トレイルランナー達が参加しルーム・トゥ・リードの資金集めをしています。闇夜の中を16~25マイルを踏破するこのイベントに、2013年は1,300名以上が参加しました。

スマートな提携

私達は、団体の資金提供者に支えられています。

主要な企業・組織スポンサーとの提携のおかげで、活動を世界中へ拡大していくことができます。2013年に受けた全支援・収入の40%以上は企業、財団、政府からのもので、現金の他に物資・サービスによる寄付もありました。パートナーには活動に不可欠な資金提供だけでなく、私達の教育に対するビジョンを、その貴重なネットワークを活用して拡散する役割も担って下さいました。このようにして、私達の支援は広がり続けています。

 アトlassian社は、ライセンスあたり10米ドルで販売している新規企業や小規模チーム向けのフルサポート付ソフトウェアのスターター・ライセンスの収益金を全て、ルーム・トゥ・リードに寄付されています。本来であれば自社の新事業創出に充てるべき資金を、私達のアジア地域でのプログラムに300万米ドル寄付して下さいました。当社がルーム・トゥ・リードを通じて支援する子どもの数は、2014年末までに25万人に達しようとしています。

 ビル & メリンダ・ゲイツ財団には、ルーム・トゥ・リードの戦略的計画における取り組み、および図書館・図書室プログラムと現地語出版プログラムの国際比較評価にサポート頂いています。また同財団は、学校の図書室が私達の支援終了後に維持管理を成功させた要因を調査する支援もして下さっています。さらには、司書、教師、生徒が図書を有効活用できるようリソース統合に関する調査にもご協力頂きました。

 ブルームバーグ社は先駆的な支援をされています。恵まれない教育環境の若者に学習支援を行い、エンプロイアビリティ（雇用され得る能力）の向上を助けるための長期的な教育水準の底上げを目指しているのです。2008年からパートナー企業である当社はアジアの読み書き能力育成プログラムのために、50万冊以上の現地語図書やストーリーカードを供給する資金を援助して下さいました。さらに2012年からは、アジアでの女子教育支援プログラムに参加する約2千人もの少女達を支援いただいています。

 バーガーキング社のヨーロッパおよび南アフリカ市場の寛大なお客様と、で販売している新規企業や小規模チーム向けのフルサポート付ソフトウェアのスターター・ライセンスの収益金を全て、ルーム・トゥ・リードに寄付されています。本来であれば自社の新事業創出に充てるべき資金を、私達のアジア地域でのプログラムに300万米ドル寄付して下さいました。当社がルーム・トゥ・リードを通じて支援する子どもの数は、2014年末までに25万人に達しようとしています。

キャタピラー財団は、2009年より私達の読み書き能力育成プログラムと女子教育支援プログラムに多大なる貢献をされています。現在は、1,200名の少女達に4年間の中等教育を提供するとともに、80以上の図書館・図書室設立、読み書き指導のサポートも支援されています。これらの恩恵はインド、ベトナム、南アフリカに住む1万6千人以上の子ども達に届けられます。

 シティーグループは、世界中の教育関連NGOのために行う同社の「e for Education」イニシアチブを通して、2013年にルーム・トゥ・リードのパートナーになりました。2013年10～12月には、同社の名高い法人間電子取引プラットフォームであるペロシティ上で、法人取引額100万米ドルごとに1米ドルを寄付して下さいました。集まった50万米ドル以上は、読み書き能力育成プログラムと女子教育支援プログラムの運営資金に充てられ、100万人以上の子ども達が恩恵を受けました。

 クレディ・スイス社は、ルーム・トゥ・リード最大の企業スポンサーの一社です。現在、同社のグローバル・エデュケーション・イニシアチブを通して、読み書き能力育成プログラム、女子教育支援プログラム、重要な戦略的成長の機会にご支援頂いています。また当社は香港、ロンドン、東京、シドニーのルーム・トゥ・リードのスタッフに無償でオフィススペースを提供下さっています。そして、各国で活動するスタッフの能力開発をグローバル・シチズン・プログラムを通して様々な面で貢献されています。

 フォッシル財団は、アジアとアフリカにおける読み書き能力育成プログラムに、2年間で100万ドルの援助をして下さいました。2013年、ルーム・トゥ・リードのチェックアウト・チャレンジ・キャンペーンを通じて支援された子どもは100万人に達しています。

 ゴールドマン・サックス財団およびゴールドマン・サックス・ギブズ・プログラムを通して、当社とその上級経営幹部から、数百万米ドルの寄付を頂きました。また、ゴールドマン・サックス「10,000 Women (1万人の女性)」プログラムを通じて、インドでの女子教育支援プログラム用の試験的な起業家スキル養成コースを支援して下さいました。これにより、3年以上で400名の女子高校生の包括的な教育が実現に至りました。ゴールドマン・サックス「1万人の女性」は1億米ドルを投じた5年間のキャンペーンで、均衡のとれた経済成長を促進するため、世界中の教育機会に恵まれない1万人の女性達にビジネスやマネージメント教育を提供することを目的としています。

 グーグル社は創立15周年を記念し、当社初の社員向けグローバル教育キャンペーン「Education for All」をルーム・トゥ・リードとともに実施しました。当社は本キャンペーンを通じて、世界中の各社員に最低15米ドルの寄付を呼びかけ、1万5千人の子ども達がルーム・トゥ・リードの教育支援を受けられるよう働きかけて下さいました。集まった資金は、私達の活動に多大な恩恵をもたらしています。

スマートな財政

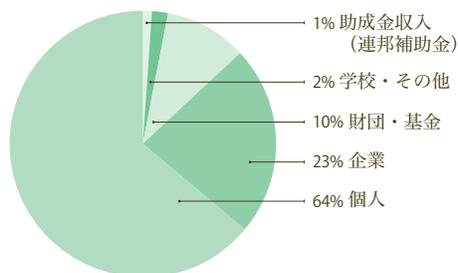
私達は事業の透明性を重視しています。

ルーム・トゥ・リードは国際的な教育支援において、最も効果的で財政責任に優れた組織のひとつとして知られています。この完璧な透明性と定期的に行っている活動成果のモニタリングが、投資家の信頼と寄付に繋がり、その結果プログラムの大きな達成を導きます。こうしたプログラムは、支援を受ける子ども達の人生を劇的に変化させます。明るい将来設計を立てられるだけでなく、地域コミュニティやひいては国の将来までをも変える力を秘めているのです。

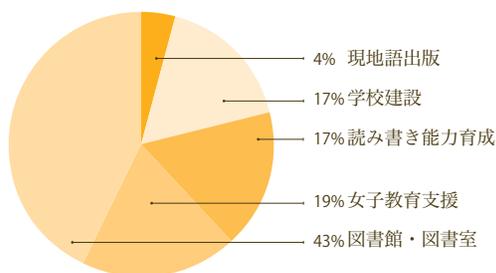
財務ハイライト



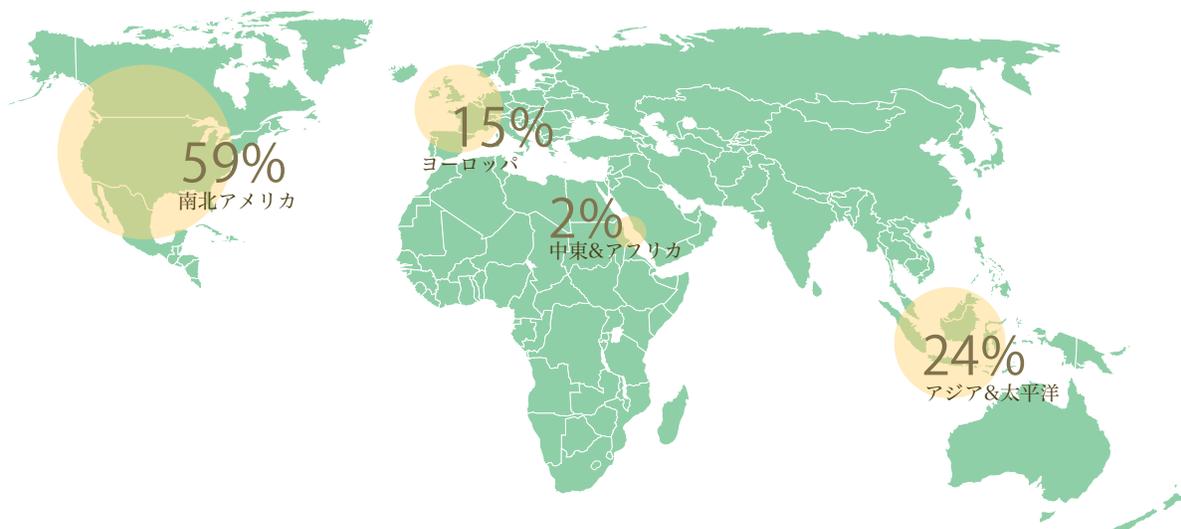
投資者タイプ別寄付の割合



プログラム別出資内訳



地域別収益源



活動報告書

2012年12月期および2013年12月期(米ドル)

支援および収益	2013	2012
企業	\$9,454,565	\$9,204,733
財団・基金	\$4,044,931	\$3,867,878
個人	\$26,766,308	\$25,285,323
学校・その他	\$759,126	\$1,462,898
寄付合計	\$41,024,930	\$39,820,832
寄付収入	\$572,042	\$470,900
物資・サービス寄付	\$6,336,874	\$2,784,397
投資およびその他収益、特別イベント出資、諸費用	\$44,244	\$180,131
支援および収益合計	\$47,978,090	\$43,256,260
運営経費	2013	2012
プログラム運営		
図書館・図書室設置	\$5,225,408	\$7,260,323
図書・物資寄贈	\$5,324,446	\$4,259,626
学校建設	\$3,923,182	\$5,743,317
女子教育支援	\$2,813,670	\$2,724,477
現地語出版	\$696,699	\$812,429
読み書き能力育成	\$1,777,240	\$1,741,344
会議費・旅費	\$1,775,331	\$2,430,187
情報技術費	\$883,255	\$848,457
モニタリング・評価	\$171,477	\$940,608
専門家報酬	\$421,376	\$509,015
プログラム経費	\$1,985,871	\$2,106,875
プログラム人件費	\$12,587,985	\$12,508,038
プログラム運営費合計	\$37,585,940	\$41,884,696
運営・管理費	\$2,526,066	\$2,653,069
資金調達活動	\$5,206,370	\$5,551,692
運営経費合計	\$45,318,376	\$50,089,457
換算調整	\$(304,252)	\$(38,984)
非拘束純資産の変動	\$3,029,088	\$(5,644,289)
時拘束純資産の変動	\$(673,626)	\$(1,227,892)
期首非拘束純資産	\$(2,340,599)	\$3,303,690
期首一時拘束純資産	\$19,830,322	\$21,058,214
期末純資産	\$19,845,185	\$17,489,723

ルーム・トゥ・リードの財務報告書は、認定を受けた独立公共会計士によって監査されており、ホームページ上でも入手可能です。

理事会および職員

理事会役員

クレイグ・ブリュエ (理事長)：マイクロソフト・ビジネス・ソリューションズ元最高財務責任者 (CFO)

ユスフ・アリゼラ：ノーベル・グループ 最高経営責任者
ジェリー・デルミシエ：パークレイズ銀行 元最高業務執行責任者 (COO)

エリン・ガンジュ：ルーム・トゥ・リード 共同創設者 兼 最高経営責任者

ピーター・T・グラアー：ブルームバーグ 会長

スコット・キャプニック：ハイブリッジ・キャピタル・マネージメント 最高経営責任者

ティム・クーグル：Yahoo! 元会長 兼 最高経営責任者

キム・アンスタット・モートン：ガール・ライジング 諮問委員

フェルナンド・ライマーズ博士：ハーバード大学 グローバル教育および国際教育政策ディレクタージョン・リディング：『ファイナンシャル・タイムズ』紙 最高経営責任者

スーザン・ウォジスキ：YouTube 最高経営責任者

ジョン・ウッド：ルーム・トゥ・リード創設者

名誉理事

ヒラリー・バレンタイン(理事長)：ブラック&ホワイト・デザイン 共同経営者

クリス・ピア：アイアンマーク・ロー・グループ 創設メンバー

アラスティア・マクタガート：エメラルド・ファンド 社長

ムニール・サッター：サッター・インベストメント・マネージメント 会長

ジェニー・シリング・ステイン：ドレイパー・リチャード・カブラン財団 共同創設者 兼 相談役

リージョナル・ボード

アジア太平洋

ユスフ・アリゼラ & ディナ・クレイノ・アリゼラ
ケビン & アリサ・バーク

ダニエル & ダウン・ディース

ベン & アサミ・ファークソン

ニール・ハーベイ

カール・ハッテンロッツチャー & タミコ・M・リビット

アラン & クリスチャン・ミヤサキ

ゾルタン & タマラ・ヴァーガ

オーストラリア

ステイブ & キャリー・ベロッチェ
マイク & アニー・キャノン・ブルックス

ブレット & ザウラ・ゴッドフレ

ジョン & ニコル・キース

デビット・トリプル & ドナ・イップ

マイク & シンシア・ウエラン

ニューヨーク

メアリー・バイロン

ピーター・T・グラアー

スコット・カプニック

ジャイディープ・カンナ

ステファン & ジェーン・キング

ジョン & ダッドリー・マクファーレン

ディヴィッド & ジャックリー・マーティン

アロン・ニーマン

エリック & シャウナ・ヴァーヴェル

英国

アンドリュー・ボールス & エリカ・ワックス

パトリック & ベネディクト・ド・ノネビル

マリサ・ドリュー

マーティン・ゴワー

ダグ・ヘンダーソン

シンドウ・ホーダー

スコット・ミード

アナリサ・ブレロ・モリス

ジョン・リディング

ランディ・ワーク

リーダーシップ・チーム

マネジメント・チーム

エリン・ガンジュ：共同創設者 兼 最高経営責任者

ジョアン・チョウ：最高財務責任者

リン・フォーデン：最高国際運営責任者

コリー・ヘイマン：最高プログラム責任者

ギータ・ムラリ：最高開発責任者

ビエール・タウンズ：最高人材活用責任者

インターナショナル・ディレクター

ウンメシュ・ブラメ：インド カントリーディレクター

サマンサ・チューラ：ザンビア カントリーディレクター

シャフィクル・イスラム：バングラデシュ カントリーディレクター

シェヴァンティ・ジャヤスリヤ：スリランカ カントリーディレクター

カール・カーン：カンボジア カントリーディレクター

タタジャナ・クライン：アジア ディレクター

ティエン・フォン・レー：ベトナム カントリーディレクター

ジェフリー・オダガ：アフリカ アソシエイトディレクター

クリストファー・モスピ：南アフリカ カントリーディレクター

アナスタシア・ムルワ：タンザニア カントリーディレクター (代行)

ディネシュ・シュレスタ：共同創設者 兼 フィールドオペレーション・ディレクター/ネパール カントリーディレクター

(代行)

ノーカム・スーパノヴァン：ラオス カントリーディレクター

2014年4月30日現在



写真提供者:

表紙: ウィレム・ド・ランゲ

p3: モンティー・スライ

p7: イアン・マーフィー

p11: サイカット・モジュンダー

p15: ニエン・レー

p26: アガ・カーン大学/サラ・ルイス

裏表紙: メラニー・ドハーティー

デザイン: メラニー・ドハーティー・デザイン
(サンフランシスコ)

子どもの教育が世界を変える

ルーム・トゥ・リードは、開発途上国に住む何百万の子ども達の人生をより素晴らしいものにできるよう、読み書き能力の育成と教育における男女の格差是正に焦点を当てた活動を行っています。地域コミュニティ、パートナー企業、政府機関と協働しながら、初等教育での読み書き能力と読書習慣の育成、そして少女達が有益なライフスキルを身につけて中等教育を修了できるよう学校内外で支援しています。



ルーム・トゥ・リード グローバル・オフィス：サンフランシスコ・デリー・香港・ロンドン・ムンバイ・ニューヨーク・シドニー・東京・チューリッヒ

www.roomtoread.org (英語)
japan.roomtoread.org (日本語)

ルーム・トゥ・リードに事務所スペースをご提供頂いている以下の企業様のご厚意に深く感謝申し上げます：クレディ・スイス(ロンドン、香港、シドニー、東京)、C12キャピタル・マネージメント(ニューヨーク)、リライアンス・キャピタル(ムンバイ)